

## ASD児のリトミック課題時における視覚支援の効果

The Effects of Visual Cues in Rhythmics  
for the Child with Autistic Spectrum Disorders

○生田美織・米山直樹

(神戸市北須磨支所保健福祉課) (関西学院大学文学部)

Miori Ikuta, and Naoki Yoneyama

(Health and Welfare Division, North Suma Branch Office, Kobe City) (School of Humanities, Kwansai Gakuin University)

Key words: autistic spectrum disorders, rhythmics, visual cues

## I. 目的

本研究では、母親から「身体感覚が弱く、療育園での音楽活動に従事できない」と訴えのあったASD児を対象に、視覚支援やリハーサルを用いたリトミック課題を実施し、その有効性を検討した。

## II. 方法

1. 対象児 支援開始時5:10のASD男児1名。知的障害児対象の療育園に通園していた。新版K式2001発達検査(CA=5:10)によるDQは、姿勢・運動:53、認知・適応:100、言語・社会:100、全領域:101であった。指導開始前は、姿勢保持が困難で多動、模倣の際に手本との向きが左右逆、微細模倣の間違いなどの行動が認められた。

2. 指導場面 大学のプレイルームにおける週1回の療育60分のうち、約15分を用いた。対象児、母親が横一列に並び、キーボード演奏をする指導者、プロンプターと対面して立っていた。プロンプターが指導者によるキーボード演奏に合わせた動作を教示した後、対象児、母親に模倣してもらった。

3. 手続き 課題の動作・曲は、『イラストでわかる障害児のリトミック指導』(望月ら,2001)より、自然動作反応リトミック(“片足トントン”、“腕をプーランプーラン”、“たのしいギャロップ”)、模倣動作反応リトミック(“わんわんお犬”、“ポンポコたぬき”、“うーさぎ、うさぎ”)を用いた。なお、介入は自然動作反応リトミックのみ実施し、模倣動作反応リトミックについては般化のみを確認した。

(1) ベースライン (BL) 期 通常行われるリトミック課題を行った。

(2) 介入期 1 キーボードの前面に対象児の立っている方向に向けて、自然動作反応リトミックを示したイラストが描かれたスケジュール表を貼った。また、「できました表」を使用し、課題従事に対してクンエノミー法によるバックアップ強化を行った。

(3) 介入期 2 “たのしいギャロップ”のみ、曲を演奏する前にリハーサルを行った。その後、四分音符=40のテンポおよび四分音符=70のテンポでリトミックを実施した。他のリトミックについては、介入期1と同様の手続きであった。

(4) ポストセッション (PS) 期 介入期1、介入期2の効果を検討するために実施した。手続きはBL期と同様である。

(5) 般化テスト 本研究で行ったリトミック以外のリトミックに般化がみられるかを確認するために実施した。

4. 結果の算出方法 リトミック課題の評価として、反応動作別に0～3点の4段階で評価し、課題従事率(%)を算出した。また、動作の正確性について、反応動作別に0～3点の4段階で評価し、動作達成率(%)を算出した。全セッションのうちランダム抽出による5セッションの観察者間一致率は86.7%であった。

5. 社会的妥当性 研究終了後にアンケートにより、母親に社会的妥当性の評価を求め、本指導について、その技法および実施方法の有効性などを4件法で質問した。

## III. 結果と考察

結果をFig.1、Fig.2に示した。課題従事率については、自然動作反応リトミックの介入期1で安定し、模倣動作反応リトミックにも般化がみられた。達成率についても同様の結果が示された。介入期2では、“たのしいギャロップ”の達成率が上昇し、リハーサルの有効性が示された。社会的妥当性は概ね好意的な評価であった。また、般化テストでは、高い課題従事率が認められ、動作達成率についても一定の般化が認められた。本研究により、リトミック課題時における視覚支援の有効性が示された。一方で、療育園や習い事先での音楽活動に従事することはできず、日常生活場面での般化はみられなかった。しかし、課題従事率の高い活動から介入すると、似た活動にも般化することが示唆された。今後の課題として、日常生活場面に般化できるような介入方法の検討が必要であると考えられる。

## IV. 参考文献

望月勝久・山浦達雄・齋藤一雄・土野研治(2001) イラストでわかる障害児のリトミック指導, 障害児教育&遊びシリーズ, 6, 黎明書房, 1-66.

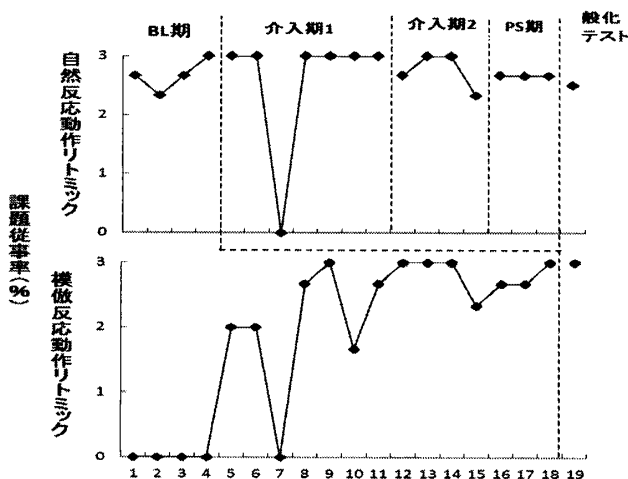


Fig.1 リトミック課題時における課題従事率 (%)

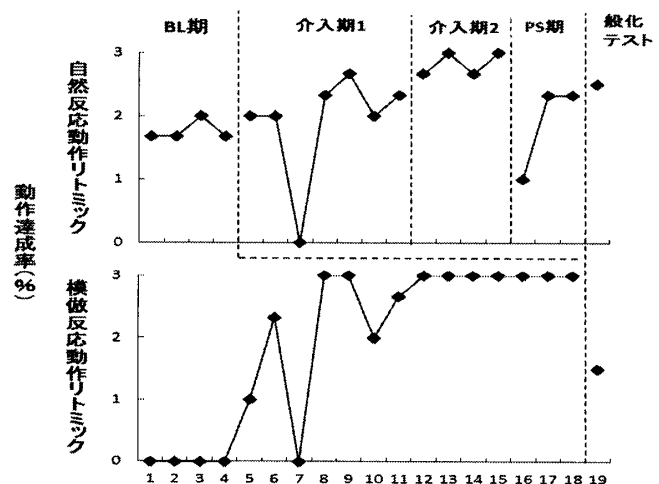


Fig.2 リトミック課題時における動作達成率 (%)